

「たむら市民病院経営改革プラン」の点検・評価

令和3年3月 田村市病院事業運営審議会

1 背景・概要

- 市では、市民が将来にわたり安心して医療が受けられる体制を確保するため、医療法人真仁会大方病院の事業を承継し、令和元年7月に「たむら市民病院」（以下「市民病院」と表記）を開院しました。
- 市民病院は、病院運営の実績が豊富で安定した人材基盤を有する「公益財団法人星総合病院」を指定管理者として運営しています。
- 市では、総務省からの通知※に基づき、令和2年3月に「たむら市民病院経営改革プラン」（以下「プラン」と表記）を策定しました。
※「公立病院改革の推進について」（平成27年3月31日付け総務省自治財政局長通知）
- このたび、田村市病院事業運営審議会においてプランの実施状況に関する点検・評価を実施しました。その結果は下記及び別紙のとおりです。

2 令和元年度における取組実績（要旨）

- 数値目標（13指標）のうち、「患者1人当たりの診療収入（入院）」「後発医薬品の使用割合」「紹介件数」「手術件数」の4指標が目標値を上回りました。一方で、それ以外の9指標は目標値を下回る結果となりました。
- 経常収支および医業収支は、目標を大きく下回りました。常勤医師の不足が最大の要因であり、医師確保に向けた取組の強化が目下の課題です。

3 令和2年度以降の取組（要旨）

- 勤務医の負担軽減を図るため、福島県立医科大学に対して医師の派遣を要望し、令和2年10月から週1回派遣を受けています。
- 常勤医師の確保に向けて、紹介会社を通じて求人を行っているほか、医科大学に対する寄附講座の設置について調査検討を進めています。
- 指定管理者の強みを生かした経費削減の取組を継続します。
- 医療の質の向上と収支の改善を図るため、施設基準の取得や看護基準の見直しに取り組みます。
- 医師および看護職の負担軽減を図るための取組を進めます。
- 田村地域における持続可能な医療提供体制を示す「田村地域医療ビジョン」の策定に取り組むとともに、地域に存する公立病院との再編・ネットワーク化を進めます。

【別紙】「たむら市民病院経営改革プラン」の実施状況及び点検・評価

1. 収支改善に係るもの

項目	令和元年度			備考
	目標値	実績	評価	
① 経常収支比率（％）※ ¹	87.1	75.2	未達成	経常収益÷経常費用
② 医業収支比率（％）※ ¹	89.8	74.7	未達成	医業収益÷医業費用

【点検・評価等】

- 経営の健全性をあらわす経常収支比率※¹および医業収支比率※¹は、ともに目標値を大きく下回った。
- 目標値を下回った最大の要因は、常勤医師の急逝により患者数および収益が減少し、代替の非常勤医師に関する費用が膨らんだため。
- 収支の改善に向けて、特に医師の確保に向けた取組を強化する。
なお、現在取り組んでいる内容は次のとおり。
 - ◇ 福島県立医科大学に医師派遣を要望（→令和2年10月から週1回派遣）
 - ◇ 紹介会社を通じた求人
 - ◇ 医科大学に対する寄附講座の設置に向けた調査検討

※¹ いずれも、指定管理者の収支から、他会計繰入金（損失補てんの収入）を除いて算出した。

2. 経費削減に係るもの

項目	令和元年度			備考
	目標値	実績	評価	
① 医薬材料費一括購入による削減（％）	30	21	未達成	平成 30 年度を基準として削減率を算出
② 後発医薬品使用割合（％）	51	52.5	達成	

【点検・評価等】

- 指定管理者（星総合病院）の共同購入システムにより医薬材料を調達した結果、目標値には達しなかったものの、基準年対比で 21％の費用削減^{※2}が図られた。
- 後発医薬品の使用を推進し、年度目標を上回る結果となった。
- 今後も、指定管理者の強みを生かしながら、経費削減の取組を継続する。

※2 平成 30 年度と令和元年度の医薬品費比率【医薬品費÷医薬収益】を比較して算出

3. 収入確保に係るもの

項目	令和元年度			備考
	目標値	実績	評価	
① 1日平均外来患者数 (人)	92	89.6	未達成	延患者数÷稼働日数
② 1日平均入院患者数 (人)	16	14.5	未達成	延患者数÷稼働日数
③ 病床利用率(%)	50.0	45.4	未達成	延患者数÷延病床数 類似平均※ ³ ：61.6%
④ 患者1人当たりの診療 収入(外来)(円)	11,000	9,855	未達成	外来収入÷延患者数 類似平均※ ³ ：8,764円
⑤ 患者1人当たりの診療 収入(入院)(円)	20,510	20,606	達成	入院収入÷延患者数 類似平均※ ³ ：25,616円

【点検・評価等】

- 入院収入(単価)のみ目標値を上回り、それ以外の項目は目標値を若干下回った。
- 各指標を向上させるための取組は、医師の確保が柱となる。
- 提供する医療の質の向上を図るため、次の取組を進める。
 - ◇ 施設基準※⁴の取得(開院時：10項目 → 現在：17項目)
 - ◇ 看護基準の向上(現在：15対1 → 令和3年度予定：13対1)

※³ 全国の自治体病院(20～99床規模)における令和元年度の平均値

(出所：公益社団法人全国自治体病院協議会「病院経営実態調査報告」「病院経営分析調査報告」)

※⁴ 健康保険法等で定める、医療機関の機能・設備・診療体制・サービス等を評価するための基準のこと。基準を取得すると、診療報酬が加算される等のメリットがある。

4. 経営の安定性に係るもの

項目	令和元年度			備考
	目標値	実績	評価	
① 常勤医師数（人）	3	2	未達成	

【点検・評価等】

- 常勤医師3人体制で開院したが、年度途中に副院長が急逝し、代替の常勤医師が確保できていない。
- 医師の確保に向けて、現在取り組んでいる内容は次のとおり。※再掲
 - ✧ 福島県立医科大学に医師派遣を要望（→令和2年10月から週1回派遣）
 - ✧ 紹介会社を通じた求人
 - ✧ 医科大学に対する寄附講座の設置に向けた調査検討
- 医師・看護職の負担軽減を図るため、以下の取組を進める。
 - ✧ 看護職が患者の看護に集中できる環境を整えるため、コメディカルを中心とした看護職負担軽減策の策定
 - ✧ 特定行為研修を修了した看護師※⁵の育成

※⁵ 医師の作成した手順書により診療補助（特定行為）を行うことができる看護師のこと。

5. 医療機能等指標に係るもの

項目	令和元年度			備考
	目標値	実績	評価	
① 紹介件数（件）	441	531	達成	
② リハビリ件数（件）	1,404	1,209	未達成	
③ 手術件数（件）	151	186	達成	

【点検・評価等】

- 地域連携室を設置して、市内および近隣の医療機関との紹介・逆紹介を行っており、紹介件数は順調に伸びている。
- 手術件数は、すべて形成外科のもの。それ以外の手術は、連携している医療機関を逆紹介して対応している。
- 今後も、地域の医療・介護機関との連携を密にしながら、医療機能の向上に向けた取組を進める。